

法政大学大原社会問題研究所

所 報

(2022.7.1 ~ 7.31)

□研究員人事 (7月31日付)

退職 研究補助員 (RA)

長谷川達朗

□刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』766号 (2022年8月)

□図書受入

| | 和 書 | 洋 書 | 計 |
|-----|-----|-----|-----|
| 購 入 | 64 | 15 | 79 |
| 受 贈 | 39 | 0 | 39 |
| 合 計 | 103 | 15 | 118 |

□閲覧サービス

閲覧

| | |
|------|-----|
| 開館日数 | 21日 |
| 閲覧者数 | 15名 |
| 貸出図書 | 11冊 |

コピーサービス

| | | |
|----|-----|--------|
| 学外 | 10件 | 1,825枚 |
| 学内 | 3件 | 62枚 |

日 誌

- 1日 事務職員の部分的テレワーク継続 (～31日)
- 5日 HOSEIミュージアム紀要編集委員会 (オンライン) (榎)
環境アーカイブズ「100分 de ガイダンス 環境資料って何? ——環境アーカイブズの使い方」社会学部・天本哲史ゼミにて実施 (対応: 山本, 宇野)
- 6日 所員会議 (オンライン) 事務会議 (オンライン)
- 11日 大森義太郎資料受贈追加分 (寄贈者: 大森悟氏, 資料の量: 1袋)
- 12日 国連大学図書館 ILO コレクションの概要調査 (国連大学・ILO 駐日事務所訪問, 榎)
環境アーカイブズ「100分 de ガイダンス 環境資料って何? ——環境アーカイブズの使い方」社会学部・岡野内正ゼミにて実施 (対応: 山本, 宇野)

- 13日 HOSEIミュージアムの2023年度テーマ展示に向けて研究所蔵マルクス『資本論』のレプリカ作成に関する打ち合わせ (来所: HOSEIミュージアム3人, 業者2人, 対応: 榎, 中村)
- 19日 環境・市民活動アーカイブズ資料整理研究会 長谷川達朗 (RA)「川俣修壽・サリドマイド事件関係資料の整理と引継事項」地下3階蔵資料カビ除去作業 (埼玉福祉会) (～22日) 展示貸出資料の返却 (来所: 町田市立国際版画美術館, 対応: 中村)
- 20日 運営委員会 (オンライン) 議題①兼任研究員の採用 ②教員の海外出張について 『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会 (オンライン) 月例研究会 (オンライン) マヌー島岡 (吉本興業所属フランボネ)「ソーシャル・ビジネスの現在——『お笑いを通じた社会問題の解決』をめざして」 燻蒸・除菌資料の引取り「大森義太郎資料」 (来所: 埼玉福祉会, 対応: 中村)
- 22日 国際労働問題シンポジウム打ち合わせ (国土交通省訪問, 藤原・鈴木)
- 23日 立教大学共生社会研究センター・オンラインセミナー (環境アーカイブズほか共催) 「記録される生と死——アーカイブズと『名前』をめぐるディスカッション」(スピーカー: 山本唯人ほか)
- 25日 修復・デジタル化資料の返却『じかたび』 (来所: 東京修復保存センター, 対応: 中村)
- 26日 大原社会政策研究会 (第93回) (於: 市ヶ谷キャンパス+オンライン) 崔成浚 (東京大学大学院人文社会系研究科博士課程)「韓国の失業扶助における『韓国型』の特徴——新しい社会的リスクを中心に」
- 28日 第1回研究所長会議及び第1回研究総合本部会議 (出席: 布川)

大原社会問題研究所雑誌

No.769 (2022年11月号)

2022年11月1日発行

定価1,018円 (本体926円+税10%)

年間購読12,000円(税込)

編集(兼)発行人 法政大学大原社会問題研究所

編集長 藤原千沙

所 長 布川日佐史

〒194-0298 東京都町田市相原町4342

電話042(783)2305

印刷 株式会社相模プリント

投稿募集

『大原社会問題研究所雑誌』は、社会労働問題に関する学術研究雑誌で、「論文」「資料紹介」「調査報告」の投稿を受け付けております。下記の投稿規程と執筆要領に基づいてご投稿ください。規程と要領に沿わない原稿は受理できません。[2019.10.1 改定]

投稿規程

1. 投稿原稿はワープロ・パソコン作成による未発表のものに限ります。
2. 投稿原稿の分量は、原則 20,000 字以内（図表・スペースを含む）です。
3. 投稿原稿は、審査用原稿となりますので、本文や注などで執筆者が特定される記述をしないでください。1 ページ目は、原稿の題目に続けて無記名で本文に入ってください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。「論文」は審査の結果、「研究ノート」となることがあります。
5. 掲載原稿には、掲載誌 2 冊と抜刷 30 部をさしあげます。
6. 投稿者は、次の各 3 部を下記宛てに郵送してください。

A：投稿原稿（審査用原稿）

B：投稿原稿の要旨（1,000 字程度）

C：表題紙

C の表題紙に記載する事項は、投稿原稿の、①題名、②目次、③分量（図表を除く文字数（スペースを含める））、④図表の有無と数、⑤著者の氏名（よみがなを併記）、⑥肩書き（所属・職名、大学の場合は学部等まで）、⑦略歴、⑧連絡先（郵便番号、住所、電話番号、電子メールアドレス）です。

7. 投稿者は、投稿原稿の郵送後、B：投稿原稿の要旨、C：表題紙を、下記宛てに電子メール（もしくは FAX）で送信してください。件名は【投稿(お名前)】としてください。

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会宛

【郵送先】〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 法政大学大原社会問題研究所

【メールアドレス】ohara-journal@hosei.ac.jp 【FAX】042-783-2311

投稿原稿 執筆要領

1. A 4 判の横書き、40 字×40 行、下部にページ数を付し、白黒・片面で印刷する。
2. 原則として、数字は算用数字、句読点は「、」と「。」を用いる。
3. 本文の各節には「.」のない 1 2 …を用いる。
4. ワードソフトによる脚注の挿入機能は使用してよい。
5. 図表は、白黒印刷できるものを提出する。本文には余白に【表 1】等と挿入場所を指定し、図表そのものは別紙に一括し、通し番号をつける。図表の文字換算数は定めないが、審査にあたっては、図表の大きさで全体の分量を概算する。
6. 参考文献は、著者名・発行年・論文名・雑誌名（書籍名）・巻号（出版社）・雑誌の場合は頁数を記述し、著者名（姓）のアルファベット順または五十音順に記載する。ただし他の記載方法も可とする。

【記載例】

榎一江（2017）「近代日本のパターナリズムと福利施設」『大原社会問題研究所雑誌』705 号、29-43 頁。

原伸子（2015）「イギリスにおける福祉改革と子どもの貧困——「第三の道」と社会的投資アプローチ」原伸子・岩田美香・宮島喬編『現代社会と子どもの貧困——福祉・労働の視点から』大月書店。

Suzuki, Akira（2016）“Japanese Labour Unions and Nuclear Energy: A Historical Analysis of Their Ideologies and Worldviews,” *Journal of Contemporary Asia*, Vol.46, No.4, 591-613.